

# アクセルグリーン工法



植物発生材（伐採木・抜根・刈草）を  
『環境にやさしい方法』によって  
リサイクル利用を可能にする堆肥化工法です



【お問合せ】

富士見工業株式会社

〒422-8026

静岡県静岡市駿河区富士見台1丁目21番22号

TEL 054-283-2933 / FAX 054-283-2969



有限会社ウエイ 東京オフィス

〒132-0035

東京都江戸川区平井2-11-18 2F

TEL 03-5875-5703 / FAX 03-5875-5704

# アクセルグリーン工法とは

道路、河川、砂防の開発や維持に伴って発生する植物発生材(伐採木・刈草)を『堆肥化』によって土壤改良材や緑化基盤材として再資源化する工法です。

発酵促進材「アクセルコンポ」と発酵助材「アシストコンポ」が、木・草や土に付着する微生物を活性化します。

## アクセルグリーン工法の特徴

### 【1】高い環境安全性

発酵促進材・発酵助材は、小麦成分を主体に作られています。食品由来の原材料は非常に安全性が高く、安心してご使用頂けます。

#### 発酵促進材 アクセルコンポ



発酵促進材「アクセルコンポ」は微生物活性化材・栄養材を含みます。安定した発酵促進効果があり、堆肥化する原料に存在する土着の微生物に有効的な栄養源を与えることで分解の活性化を促します。

#### 発酵助材 アシストコンポ



発酵助材「アシストコンポ」は、植物発生材の物性を改善、高温堆肥化を促進し、安定した発酵を維持します。  
・選択的栄養効果  
・微生物活性化効果  
・微生物環境調整効果 によって微生物の生育環境調整機能を強化しています。

### 【2】短期間での堆肥化・土壤還元

#### 【堆積法 の場合】

約3～4ヶ月で堆肥化を実現します  
施肥可能な熟度まで発酵します



#### 【生チップ緑化に使用の場合】

法面上など散布した場所での分解を促し、  
緑化しながら、土壤への還元を促進します



### 【3】特別な施設、技術が不要

バックホウ・破碎機・散水車といった土木建設機械での施工が可能で、堆肥舎や被覆シートなどの施設や防水装備は必要ありません。

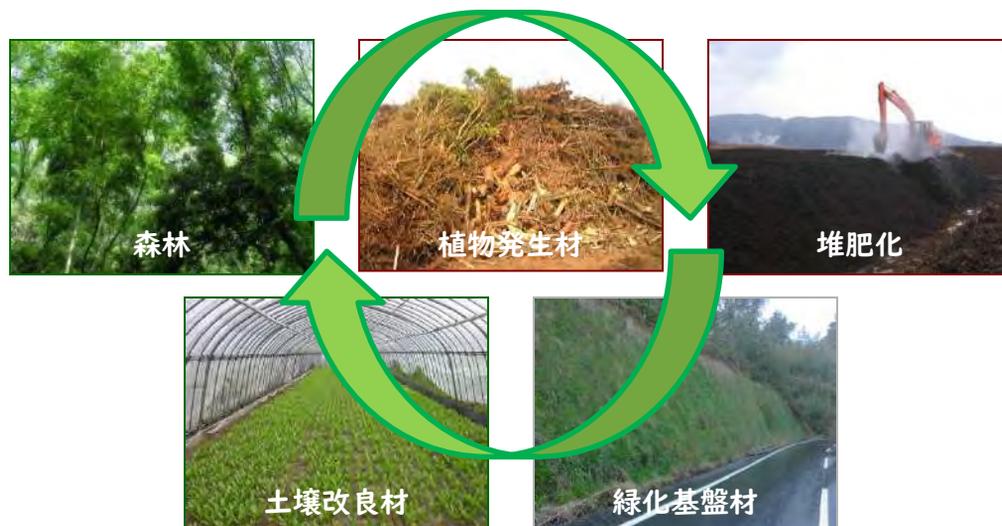
堆肥化の工程をマニュアル化したことで堆肥作成の経験や熟練者を必要とせず、再現性の高い施工を実現します。



# 『再資源化』が実現する ゼロ・エミッション

道路開発やダム建設、土地改良などの工事に伴って発生する伐採木（枝葉、根、幹）や、河川・道路の維持によって発生する刈草などの植物発生材は、廃棄物【産業廃棄物、一般廃棄物】として処理されていることが多いのが実状です。

アクセルグリーン工法は、現場内での堆肥化による再資源化を可能にし、製作した堆肥を緑化基盤材や土壌改良材として使用することでゼロ・エミッションを実現します。



## 現場作成堆肥 使用例

### 緑化基盤材

秋田県由利地域振興局 林道太郎ヶ台線 ～ 吹付けから3ヶ月目の緑化状況 ～



林道開設に伴う伐採木を現地で堆肥化し、法面の緑化基盤材として使用しました。

現場内作成堆肥（アクセルグリーン堆肥）を使用したAブロック・Bブロックは、従来工法のCブロックに比べても遜色ない緑化状況を示しました。

侵入植物の生育も進んでいます。

### 土壌改良材

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 角館国道維持出張所 ～ 国道維持工事 ～



道路の維持工事に伴って発生する刈草を堆肥化によって再資源化し、沿道花壇の土壌改良に使用しています。

刈草 → 堆肥化 → 花壇に利用

# 木質発生材 工事フロー

# 草本発生材 工事フロー

## 1) 伐採～破碎



一次破碎 → 二次破碎 1インチ以下  
※ チップ形状 ササガキ状

## 2) 仕込み



二次破碎チップに  
発酵促進材「アクセルコンボ」  
発酵助材「アシストコンボ」を加え、  
含水率60%程度になるよう加水しながら  
攪拌作業を行います

標準配合  
二次破碎チップ 100㎡あたり  
アクセルコンボ 400kg  
アシストコンボ 810kg

## 3) 切返し



全体の均一化とエアレーションを  
目的として攪拌を行います

計4回 実施  
2週目 加水・攪拌  
4週目 加水・攪拌  
8週目 攪拌  
12週目 攪拌

## 4) 堆肥化完了



熟度分析によって  
使用の可否を確認します

使用まで養生することで  
二次発酵が進み、  
より熟度の高い堆肥となります

## 1) 刈草～集草



ゴミを除きながら集草します

## 2) 仕込み



集草した草本原料に  
発酵促進材「アクセルコンボ」  
発酵助材「アシストコンボ」を加え、  
含水率60%程度になるよう加水しながら  
攪拌作業を行います

標準配合  
二次破碎チップ 100㎡あたり  
アクセルコンボ 400kg  
アシストコンボ 810kg

## 3) 切返し



全体の均一化とエアレーションを  
目的として攪拌を行います

計4回 実施  
2週目 加水・攪拌  
4週目 加水・攪拌  
8週目 攪拌  
12週目 攪拌

## 4) 堆肥化完了



熟度分析によって  
使用の可否を確認します

使用まで養生することで  
二次発酵が進み、  
より熟度の高い堆肥となります

草本原料の堆肥は  
養生期間が長くなると  
減容率も大きくなります

田畑や花壇の土壌改良材・法面や開発地の緑化基盤材として活用

堆肥化工に必要な水を確保可能で、作業可能な場所を堆肥化ヤードとして選定します

例) 二次破碎チップ 100㎡あたりの加水量

仕込み時：8 t 切返し(1回目)：8 t 切返し(2回目)：4 t

※堆肥化原料の乾燥度合や仕込み時期によって加水量は増減します